



(住所) 港区北青山1丁目1番9号 青山中学校内
(電話) 03-5422-1548
(HPアドレス) <http://tsubasa.minato-ky.ed.jp/>



見守ること、支えること

青山中学校内に移転してから、2か月が経過しました。

移転にあたっては、つばさ教室が学校の中に入ることで、子どもたちに心理的な負担が生じるのではないかと心配しておりました。しかし、現在通室している児童生徒の様子を見ているとそれが大きな障害となっている様子は見られず、少し安心しています。



確かにチャイムが鳴り、休み時間になると青山中学校の生徒たちの声が聞こえてきます。学校の中にある以上、そうした音や雰囲気は自然に感じら

れるものです。子どもたちにとっても、少しずつ学校という場に気持ちを向けていくための、大切な刺激になっているのかもしれませんが。一方で移転によってよかったこともあります。体育活動などは以前よりも他の予定に左右されにくくなり、つばさ教室の計画に沿って実施しやすくなりました。今年度は、これまで以上に体育活動を充実させることができている。

5月に入ってから、学校訪問や保護者面談を進めています。学校訪問ではつばさ教室の現在の様子をお伝えするとともに、各学校における不登校支援の取組について情報交換を行いました。

今年度から港区では、各小中学校に校内教育支援ルームが開設され、不登校児童生徒への支援がさらに進められています。その中で、校内教育支援ルームとつばさ教室がそれぞれの役割を明確にし、児童生徒一人ひとりの状況に応じた支援を行っていくことが、これまで以上に大切になっています。今後も保護者の皆様や学校との連携を密にしながら、よりよい支援につなげていきたいと考えています。

また保護者面談では、保護者の皆様が抱えていらっしゃる不安や困り感をお聞きする中で、保護者支援の必要性を改めて感じています。その一方で、保護者の方々の落ち着いた受け止め方や、子どもの成長を信じて見守ろうとする姿勢に、私たちが学ばせていただくことも少なくありません。

子どもは自分で考え、自分で決め、自分の足で一步を踏み出すことで成長していきます。周囲の大人が手取り足取り行動させるだけでは、本人の中にある力は十分に育ちません。だからこそつばさ教室では、子どもたちが安心して過ごせる場を大切にしながら、一人ひとりが自ら動き出す力を育てていけるよう支援してまいります。

4月後半からは、校外に出かける行事も始まりました。これからも安心できる居場所を提供しながら、学校復帰や社会的自立に向けて、子どもたちの歩みを丁寧に支えていきたいと考えています。



かようびじゅつかん

5月26日(火) 国立新美術館で開催されている「かようびじゅつかん」を見学しました。

今回は「生誕100年 森英恵 ヴァイタル・タイプ」という企画で、たくさんのドレスなどの作品を通して、ファッションデザイナーの森英恵さんがどんな視点で活動されてきたのかを知ることができました。子どもたちは学芸員の方と対話をしながら興味をもって鑑賞することができました。



当日は、学芸員の方に子どもたちのペースに合わせて鑑賞プログラムを進めていただいたおかげで、少しずつ展示にひきこまれていく様子が見え、嬉しく感じました。時間が足りなかったという子もいて、帰りの道すがらそれぞれ作品の感想などを話していました。

参加した子どもたちの感想を抜粋したものをいくつか紹介します。

- ・説明してもらって詳しく知れて楽しかった。
- ・絵画などが飾られている美術館以外行ったことがなかったので新鮮だった。
- ・生誕100年といっても、森英恵さんがデザインした服は今の女性にも似合うものばかりだった。
- ・森英恵さんの服は、女性が思う女性の美しさをひきだしていると思った。
- ・服を製作するには、服の形だけでなく布そのものも深く関係していると思った。
- ・最初の方にあった服は生地そのものを染め上げて蝶や花の模様などをつけて加工をしていて、同じような生地でも蝶や模様の位置が少し違って、服にした時の出来映えがそれぞれの綺麗さが凄く際立っていてとても美しかった。
- ・森さんが初期に作った服にある日本とアメリカなどの西洋の文化が合体した和洋折衷がとても美しいと感じました。なぜなら、ジャケットやベストのようなものを感じさせる上着の下に、日本の着物を彷彿とさせた服の組み合わせが美しいと感じさせられたからです。

赤坂図書館訪問

4月28日(火) 赤坂図書館訪問をしました。

4月につばさ教室が移転して赤坂図書館がとても近くになり、春の柔らかな日差しを浴びながら赤坂図書館まで往復しました。図書館でたくさんの本を見ることができ、借りてくることができました。



栽培活動

5月12日(火) 栽培活動をしました。

4つのプランターに肥料を入れ、ペチュニアの花の苗を植え、水やりをしました。プランターの置いてあるつばさ教室の入り口付近が華やかで明るくなりました。

